## これからの《便利》をつくり続け 世紀事業所」目指す 印南製作所

### 社長対談



う声をいただいたときの喜 ですから、 びや達成感をコンセプトに 常に便利になったよ」とい客さまから「印南さん、非 しています。 当社は「断らない印南」

地域社会など

ます。初対面のお客さまと をスローガンに掲げてお り、お客さまから期待を込 められてお話をいただく訳 い」という思いが強くあり 「何とか応えた 顧客、 人 を大切にしていま 長続きする企業は

70歳までと、年齢層が幅広 いのも一つの大きな特長で 創業50年を過ぎた頃か 当社の社員は18

最善の課題解決法で顧客に応える

してきたノウハウから、

「断らない印南」

特徴を的確に言い表してい キャッチフレーズは事業の つくり続ける会社」という シャル)を拝見しました 「これからの、便利、を う達成感にもつながっていいものを創り上げた、とい 供しようと、 れば得意分野だけに専念し ます。新規分野にも積極的 つし、驚かれることもありい印南』です」とごあいさ よって社員の「世の中にな のニーズに沿った製品を提 ております。また、それに てやすいですが、お客さま ていれば経営計画なども立 日々まい進し 本来であ

5年ごとの経営ビジョンを明確に

ッフと一緒になって作業に な

生粋のエンジニア

な あります。 ラインの提案を出すことも てしまっている時もありま もので、ふと気づけばスタ 学部出身の機械作りが好き す。また、新製品のアウト いう声を聞くと、技術屋と ユーザーが困っていると 声に対し、その要望に応えを解決してほしい」という

せながら取り組んでいます

特に若手は目を輝か

ないか、スタッフミーティ て、何とか近い動きを作れ 械要素を組みあわせし直し 瞬時にひらめくわけではな 直、発明家ではないので、 いです。今まで当社が蓄積 ですね。 て考えます。 夜最善の課題解決法につい 労している現場を見て、 件が始まります。現地調査 々漠然としたところから案 れてくれないか」という少 を図るための機械設備を入 手作業での仕事で苦 ほぼその形が多い 「こういう省人化 当社のパッケージマシンな

していただいたお客

づくり企業ですが、

して血潮がわきますね。

花屋の女性店員さんが花束 いただけず、行き詰まってなか満足いただける回答を いた時のことです。ふと、 以前、お客さまからなか ていこうと実行し始めてい代の変化に対応し、提供しわけではありませんが、時わけではありませんが、時ようにしています。 さま 込まないと「将来に対応で 信機能などを今後組み へ、マシンにデータ相 い」とアドバイスする

試験的な装置を<br />
作るところ

ングなどで打ち合わせし、

れは「「サランでいます。そ繰り返し言っています。そ 先も、うちで働いていたら 5年ごとに経営ビジョンと ば人はついてこない」と感 れは「一世紀後、こうなっ ラス5」を策定しています。 を明確にした「ビジョンプ プロセスなどといった目標 じているからです。その思 ていたい」というように、 ら新入社員には「50年近く 材育成や新製品開発、 いがあるからこそ、当社は して、5年後の売上高、 「経営者が夢を語れなけれ

生産品目が圧倒的に多いで

にとまり、そこからヒン ノッピングしている姿が

デアがわくのでしょうか。 で利、な製品を商品化し ク」や「ポスター巻き取り 井水 「エコメールパッ 印南 私自身、 ープ貼り装置」 どのようにアイ 大学はエ など、 回りかもしれないが諦める

客ニーズに応え続けられて な」と。ブレない軸をもっ ていることで、 いる」という自負がありま

ることが多いのでしょう と感じています。当社と言っている場合では 用化などが進んでいま 、の対応は今後考えて ウチとは関係な

っている。そういう目線えてもひらめかないけれ 常の中にも、一生懸命 いろいろな事に興味を

「エコメールパック」など新規分野にも積極的に参入。「断らない印南」をモットーに省力機械メーカ

印南製作所は創業の周年を迎える。包装機械を主力に、自社オリジナル製品のメール便高速梱包機械

として顧客のニーズに徹底的に応えるモノづくりを展開中だ。印南英一社長に「経営ビジョン」と

「一世紀事業所を目指す決意」について日刊工業新聞社の井水治博社長が聞いた。

お客様の立場で考え、新たな発想から解決策をご提 案し、お客様にとっての真の価値を実現しつづけます。

目標と課題(60期末)

財務	売上・利益の拡大(売上高20億円、限界 利益率40%、営業利益3億円) 自己資本比率の改善
顧客	既存分野の顧客満足の増大(品質安定・納期遵守) 新規分野の顧客創造(売上構成比20%)
業務プロセス	原価管理・工程管理・品質管理の徹底 自社ブランド製品のマーケティングの強化
人材と組織	マネジメント能力・体制の強化 社員の専門性と連携の強化

# アイデアの源

かに潜んでいるから、一生必ず問題点には答えがどこ あります。そのときはお互 壁にぶつかっていることも か答えが見つかるから、遠 懸命考え抜けば、なにがし 私がよく言う言葉ですが むスタッフも多く、 「答えのない問題は無い。 社内には新製品に取り組 しています。 プをかける「ポスター巻きの上からフィルムをもう一の上からフィルムをもう一

プ貼り装置」の案が

OT対応も

ーとして、ITまで凝縮した、最終的にはIoTにつながるような設備提供も今ながるような設備提供も今後必要だと実感しています。時代の変化に伴って、企業基盤となっているコンセプトとどうマッチングさせるか、避けて通れない課せるか、避けて通れない課せるか、避けて通れない課 いと考えています。 敢にチャレンジしていきた 題だと思うので、今後も果 ます して、ITまで凝縮し ある意味、機械屋で システムプランナ

井水 治博 日刊工業新聞社社長

モノづくりを 追求し続け 世の中に新しい便利を お届けする 私たちの新たなる 挑戦が始まります! 印南製作所 従業員一同

<u>INNAMI</u>





株式会社印南製作所 〒120.0047 東京都足立区宮城1-12-22 TEL:03.3912.2976 FAX:03.3919.6654 印南製作所で検索